2011 夏号 通巻 NO.40
平成23年8月20日発行 社団法人 日本空手協会

社団法人 日本空手協会

内閣総理大臣杯および文部科学大臣賞を授与される空手界唯一の団体です

JKAニュース

〒112-0004 東京都文京区後楽2-23-15 TEL：03-5800-3091 FAX：03-5800-3100 ホームページ／http://www.jka.or.jp/

内閣総理大臣杯 第54回全国空手道選手権大会

日時●平成23年7月10日(日)
場所●日本武道館

去る7月10日（日曜日）、東京・日本武道館にて第54回全国空手道選手権大会が開催された。東日本大震災の影響により、今年は個人戦（組手・形）男女の四種目のみが行われた。

26年ぶりの快挙、組手&形で栗原一晃優勝
女子組手は椎名舞が初、形は大島望が連覇！

大会特報

内閣総理大臣杯 第54回全国空手道選手権大会

日時●平成23年7月10日(日)　場所●日本武道館

決勝戦、栗原一晃（指定）が粂田力（指定）に勝ち、二度目の総合優勝。

男子組手

栗原一晃が組手で初優勝

133名が参加した男子組手。

Aコート準々決勝は、昨年の覇者・根本敬介と今年入所した飯村吏毅哉（茨城）が対戦。

しかし、根本は一ヶ月前の稽古中に負った左拳の傷が癒えておらず、飯村に右中段回し蹴り、上段突きを極められ敗退。

Bコート準々決勝は、栗原一晃（指定）と前大会3位のリチャード・ヘセルトン（指定）が対戦。両者譲らずの試合は、再試合へともつれ込むが、最後は栗原が中段突きで技有りを奪い、準決勝へ。

Cコート準々決勝は、昨年3位、一昨年は2位の粂田力（指定）が糸川秀幸（茨城）に上段突きを連続で極めて、勝利。

Dコート準々決勝は、49、51回大会で優勝した志水亮介（指定）が、成澤正和（山形）に得意の前拳を極めて、今年も準決勝へと進んだ。

二度目の準優勝となった粂田。試合後、捲土重来を誓い、会場を去った。

『心を満たす旅』創り
株式会社 トラベル日本
＜観光庁長官登録旅行業第67号／IATA公認代理店／JR各社指定業者＞
〒100−0006　東京都千代田区有楽町2−2−1　ラクチョウビル5F
TEL：(03)3572-1461　FAX：(03)3573-7733
ホームページ：http://www.travelnippon.co.jp
担当：三浦　e-mail：h.miura@travelnippon.co.jp

右／準決勝第一試合、飯村の上段突きが栗原を強襲。

準々決勝第二試合、今年もリチャード・ヘセルトン（指定）が健闘。

準々決勝第三試合は、糸川秀幸（三重）が粂田の上段突きの前に敗退。

準決勝第二試合「脚の怪我のため刻み一本に絞れなかった」という志水亮介（指定）が粂田に敗れる。

左／準々決勝第一試合は、前大会王者・根本敬介（指定）を研修生・飯村が下す。

右／準々決勝第四試合は、志水が成澤正和（山形）の顔面へ突きを二回極めて勝利。

栗原と飯村との準決勝第一試合は、再試合へ。

開始直後、飯村の回し蹴りが栗原の中段に極まるが、栗原は「もつれ込んでからの上段突きには反応できないはず」と考え、接近してからの上段突きを連続で極めて、逆転勝利。

準決勝第二試合は、粂田と志水（昨年の準決勝の組み合わせ）。今年は粂田が上段突きを連続で極め、昨年の雪辱を果たした。

決勝（三本勝負・5分間）は栗原と粂田。試合は積極的に前に出る粂田に栗原がカウンターの上段突きを極める。

さらに刻み突きで一本を奪い、王手。

しかし、粂田も反撃開始。引き込みながらの上段突き、中段回し蹴りを極めて、一本。さらに栗原曰く「反応しにくい」という上段突きを極め、あと技有り一つでどちらも優勝という状況に。

最後は「無意識に出た」という栗原の上段逆突きが粂田に極まり、勝負あり。

組手初優勝と同時に26年ぶりとなる完全総合優勝（形・組手制覇）という偉業を成し遂げた。

守礼堂 駐車場完備 東京支店
〒164-0001
東京都中野区中野 2-23-4 グリーンフォレスト 1F
TEL (03)-5342-3051
FAX (03)-5342-3052
E-mail shureido@viola.ocn.ne.jp
ご注文はこちら フリーダイヤル
TEL 0120-957-941
FAX 0120-957-942
至新宿
JR 中野駅
交番 守礼堂 グリーンフォレスト 1F
サンクス
なかのZEROホール

KATA
極まる形、極まる技
ズボンを立体的な新しい形の縫製にした為、足の動きがより自由になり、変幻自在の蹴りに対応できる。
NW-3、無隅
いつも快適な道衣
1. 優しく、柔らかなコットンの肌触り
2. 汗を素早く吸い、同時に拡散する
3. 洗濯後、シワになりにくく、早く乾く
4. 軽いうえに、縮みが少ない
NW-1～3、無隅
450g の軽さで技の高速化
（軽地）オリジナル生地4号半（175cm）のズボンで、450gの軽さを誇る。
無隅
空手衣の美しさを追求
上着背中の汗取り用あて布を特殊縫製する事により、発汗時の空手衣のまとわりつきを解消し、空手衣の形をきれいに保つ。
NW-3、無隅
KUMITE
守礼堂 本社
〒900-0012 沖縄県那覇市泊 1-1-6
TEL (098) -861-5621 FAX (098) -861-5525
フリーダイヤル TEL 0120-612341 FAX 0120-612342
E-mail shureido@arange.ocn.ne.jp
関西 守礼堂 2010年1月5日より下記の住所に移転致しました。
〒538-0044 大阪府大阪市鶴見区放出東3丁目 21－34
TEL (06) -6963-8864 FAX (06) -6963-8863
守礼堂 九州
〒890-0046 鹿児島県鹿児島市西田 2-1-18
TEL・FAX (099) -801-6920
E-mail shureido@sur.bbiq.jp
URL www.karatedo.co.jp/shureido

「去年よりは冷静な気持ちで臨むことができた」という椎名舞（指定）が初優勝。

女子組手

研修生・椎名舞が頂点へ

56名が参加した女子組手。昨年同様、元気がよいのは大正大勢。「今日は逆突きがキレている」という高谷郁子（直轄団体）が奥家沙都美（指定）に2－1で勝利。高谷はCコート準々決勝でも建部紗希（近畿地区）に上段突きを二回極めて、準決勝への切符をつかんだ。

Aコート準々決勝は、高谷と同じく大正大、前大会王者の田邉梨加子（直轄団体）が、飯島希（茨城）に上段突きを連続で極め、準決勝へ。

Bコート準々決勝は、大正大出身の高橋優子（指定）が現役生の東世菜（直轄団体）に上段突きを二回極めて勝利。

Dコート準々決勝は、拓大出身で昨年2位の研修生・椎名舞（指定）が、塚本めぐみ（本部推薦）に逆転勝利。

準決勝第一試合は、高橋と田邉の大正大OB・現役対決。田邉の突きを見切って、上段突きを極めた先輩の高橋が1年ぶり5回目の決勝へ。

第二試合は、椎名が勢いのある高谷の攻撃を凌ぎ、中段突きを極めて、二年連続で決勝の舞台へ。

昨年の準決勝と同じ顔合わせとなった決勝戦は再試合へと突入。椎名が上段突きを極めて先制するが、高橋もすぐさま上段突きで技有りを奪い返す緊迫した展開。最後は両者の突きが交差。判定が割れるが、審議の結果、椎名の上段突きが技有りとなり、初優勝となった。

上／「指導に費やす時間が多いので、自分の稽古が足りなかった」という高橋優子（指定・写真左）が準優勝。

前大会の覇者・田邉梨加子（直轄団体）は準決勝で高橋と対戦。3位入賞。

今後の活躍が期待される高谷郁子（直轄団体）は準決勝で椎名と対戦。3位入賞。

右／準々決勝で大正大OBの高橋に上段突きを放つ東世菜（直轄団体）。

右／椎名と塚本めぐみ（本部推薦）の準々決勝。

男子形

栗原一晃3連覇（5回目）

優勝候補は、三連覇を狙う昨年の覇者・栗原一晃（本部推薦）。

上位8名で争われる順位決定戦では、一番始めに登場した丸岡直人が壮鎮で42・2。

5番目に登場した吉田直之（本部推薦）が五十四歩大で42・1と高得点を出すが、6番目に栗原が壮鎮を演武。

丸岡、吉田を大きく上回る43・1を出し、3年連続5回目の優勝。

上／栗原一晃（指定）が壮鎮で43・1。二回目となる総合優勝。

上／昨年2位の丸岡直人（神奈川）。壮鎮で42・2を出し、今年も2位。

左／4位の斉藤祐樹（指定）。雲手で42・0。

右／3位の吉田直之（本部推薦）。五十四歩大で42・1。

右／5位・上田大介（山口）。壮鎮で41・7。

右／6位の山本隼人（東京）。雲手で41・3。

右／7位の猪越悠介（本部推薦）。五十四歩大で41・2。

右／8位の徳野真規（指定）。壮鎮で41・1。

女子形

大島望が連覇（4回目）

右／亡き父の写真を試合前後に握り締めていた大島望（指定）が岩鶴（43・1）で連覇（4回目）。

右／昨年3位の中町美希（指定）が五十四歩小（42・0）で準優勝。

本命は、2年連続4回目の優勝を狙う大島望（指定）。

「筋トレやランニングで下半身を強化して臨んだ」という大島は、順位決定戦で2番目に岩鶴を演武し、43・1を出す。

その後、5番目に演武した昨年2位の深作世里乃（指定）が五十四歩小で41・7。

6番目に演武した昨年3位の中町美希（指定）が五十四歩小で42・0と伸び悩み、大島が優勝を決めた。

試合後「岩鶴は入りの部分さえ良ければ、後は上手くいくので、入りに気をつけました」と語った。

右／4位の高木綾乃（新潟）。五十四歩小で41・7（↓41・7）。

右／4位の上杉ユミ（埼玉）。雲手で41・7（↓41・7）。

左／昨年準優勝の深作世里乃（指定）が五十四歩小（41.7→42.1）で3位。

右／6位の矢口友香梨（茨城）。五十四歩小で41・4。

右／6位の柴崎暢子（埼玉）。壮鎮で41・4。

右／6位の堀内麻子。五十四歩小で41・4。

子供たちが作る！レポートする！

JKAニュース キッズ編集部！

栗原一晃に一問一答！

（社）空手協会は、品格ある青少年育成に努めています。

組手と形で優勝した栗原指導員と家族の皆さんです。

今回は7月の全国大会で組手、形で優勝した栗原一晃・総本部指導員（茨城県出身、駒澤大学卒業）にインタビューしてみました。

Q 総合優勝おめでとうございます。今の気持ちを教えて下さい。

A 夢みたいです。獲れると思っていなかったので、正直驚いています（笑）。

Q どの試合が大変でしたか？

A 組手は負けたらまずいなと思っていたので、楽な試合はなかったですね。

形の方は、どの試合も会場中のみんなが私に注目していると思って臨んでいました。

Q 試合前はどのくらい練習したんですか？

A 試合前は一週間、調整になるので、普段よりも朝早く総本部に行って稽古をしていました。

全国大会の試合は朝から始まるので、その時間帯に合わせていたのです。

また、午後は指導がなければ、母校の駒澤大学へ行って、学生の組手を見て、目を慣らしたり、形を指導しつつ、調整していました。

Q 形と組手どっちが好きなんですか？

A 好きなのは組手なんですが、形の方が圧倒的に稽古がキツイですね。

孤独で厳しい稽古に耐え、自分に克たないと、一人で稽古できないからです。

Q どうすれば栗原指導員みたいになれるのですか？

A 基本をやっていると嫌になってくるとは思いますが、組手、形どちらも基本が大切です。

何かにぶつかったら、基本（初心）に戻る。私はそれの繰り返しでした。

これからも嫌って言うほど、基本をやると思います。

Q 最後にメッセージをお願いします。

A 私の好きな言葉を贈りたいと思います。

虚心坦懐（きょしんたんかい）です。

意味は、心になんのわだかまりもなく、平静な態度で事にのぞむことです。

皆さんも素直な気持ちで空手に取り組んで下さい。

大会特報

平成23年度春季関東学生会定期リーグ戦

●日時／2011年6月19日（日曜日）●場所／千葉工業大学・芝園キャンパス体育館 ●主催／（社）日本空手協会関東学生会
●協力／（社）日本空手協会・大学OB連合会

団体組手、男子・駒大、女子・大正大が連覇！
男子・石塚（拓大）、女子・廣瀬（駒大）が初優勝！

去る10月24日（日）、千葉工業大学・芝園キャンパス体育館において、平成23年度春季関東学生会定期リーグ戦が開催され、24大学約250名が参加した。

男子団体優勝、女子団体準優勝を成し遂げた駒澤大。試合後、大石師範は「試した6名のうち結果を残した者がいる」と語った。

男子団体組手

6校総当たりで争われる男子1部リーグ戦。

前大会の覇者・駒澤大の大石武士師範に話を聞くと「実戦で力を発揮できる者が未来のレギュラーとなる。今回は1～2年6名を初めて使ってみるつもりだ」という答えが返ってきた。

その駒澤大は初戦で国士舘大に3勝2敗、2試合目の大正大に4勝1敗と連勝。

3試合目は、今大会2位に食い込んだ防衛大と対戦。

大石師範が使うと言っていた6名のメンバーの二人、次鋒・高塚啓介（1年）が2－1、副将・櫻井崇雄（2年）が1－0と活躍し、3勝2敗で3連勝。

強豪・国士舘大や大正大を下し、台風の目となった防衛大。

昨年に続き、要所を締めた駒澤大・原田（写真左）。

右／3位の国士舘大。

その後も関学大を5勝、最終の拓殖大戦でも、6名の指名メンバーの一人、副将の井田が2－0で2勝2敗とすると、大将・原田が2－0で勝ち、3勝2敗。5戦全勝で今年も駒澤大が優勝した。

女子団体組手

女子1部リーグも6校総当たり。本命は、大正大。

初戦の拓殖大を2勝1敗、二試合目の国士舘大を2勝で下すと、三試合目・青学大、四試合目・防衛大を3勝で下して4連勝。

最後は毎年、優勝を争う駒澤大と対戦。

先鋒が敗れて星を先行されるが、中堅の東世菜が上段突きを極めて、1－0。大将・北村愛も中段突きを極めて、1－0で勝利。

2勝1敗で勝ち、全勝で四連覇を達成した。

上／優勝した大正大のメンバー。「飯田、新井両監督が不在なので一致団結して四連覇を目指しました」（渡辺唯子）

左／中堅として登場した東世菜（大正大）が勝利し、流れを変える。

右／3位に入った拓殖大。

男子個人組手

75名が参加した男子個人組手。決勝へと進んだのは、丸野雄大（大正大）。準決勝では、昨年の春と秋の王者である千葉工大の兼松僚を破った高塚啓介（駒澤大）と対戦。1―1から上段蹴りで一本を奪い、決勝へ。

対戦相手は、拓殖大の石塚錬。「1年と2年生の時に2回も両脚の靭帯を切り、本大会は復帰戦」と語る。

丸野と石塚の決勝戦は、上段突きで丸野が先制。しかし、石塚が「狙っていた」という中段蹴りで星を五分に戻し、さらに返しの上段突きを極め、初優勝。

拓殖大の石塚が大正大・丸野を下し、初優勝。試合後「最後は攻めて取りたかったですね」と語った。

大会結果

◆ 男子団体戦
一部 ①駒澤大②防衛大③国士舘大④大正大⑤拓殖大⑥関東学院大
二部 ①千葉工業大②青山学院大③日本大農獣医学部④獨協大⑤上智大⑥自治医科大
三部 ①亜細亜大②日本獣医生命科学大③東京経済大④国際医療福祉大
※入替／亜細亜大、日本獣医生命科学大が二部へ

◆ 女子団体戦
一部 ①大正大②駒澤大③拓殖大④青山学院大⑤国士舘大⑥防衛大
二部 ①獨協大②亜細亜大③小山工専④首都大学東京

◆ 個人戦
男子 ①石塚錬（拓大）②丸野雄大（大正大）③志村啓輔（駒大）④高塚啓輔（駒大）
女子 ①廣瀬まり（駒大）②伊藤佑季（駒大）③竹井美都樹（駒大）④田口聡珠（駒大）

女子個人組手

48名がエントリーした女子個人戦。準決勝に進出したのは全て駒澤大。竹井美都樹×廣瀬まりの準決勝は、廣瀬が上段突きを立て続けに極めて、決勝へ。

伊藤佑季×田口聡珠の試合は、伊藤が1―1から上段突きを極めて、決勝への切符を掴んだ。

手の内を知る者同士の決勝は、伊藤が上段突きで先制。しかし、一本勝負ということで間合いを丁寧に測っていた廣瀬が、上段突きで1―1とすると、最後は「行くしかない」という上段突きを極め、廣瀬が初優勝。

女子個人組手を制した廣瀬。

男子2・3部&女子2部

男子2部リーグ戦（6校総当たり）は、優勝候補の千工大が初戦で青学大を4勝1敗で下すと、続く農獣医大戦も4勝1敗で勝ち、残りの対戦校は負けなしで一蹴。しかし、入れ替え戦で関学大に敗れ、1部復帰はならず。

3～4チームが3ブロックでリーグ戦を行い、上位二チームが参加する女子2部リーグ戦トーナメント。

決勝は亜細亜大と獨協大。獨協大・先鋒の塗谷澪が2―0、中堅の伊藤仁美も2―0で勝ち、優勝を決めた。

男子3部リーグ（12校）のトーナメント決勝は、亜細亜大が日獣医大と対戦。亜細亜大の次鋒・林遼平、中堅・大金勇太郎、副将・竹俣有基が三連勝し、優勝を決めた。

入れ替え戦では、自治医科大が棄権したため、2部リーグ昇格を果たした。

女子2部は獨協大が制す。

男子3部2位の日獣医大。

上／男子3部で初優勝の亜細亜大。女子は2部で2位。

左／男子2部全勝優勝の千葉工大。

男子2部2位の青山学院大。

スーパーキャンパス　SBC
日本空手協会試合用マット取扱店
初段から四段の段位証専用額新発売
SHOBU
KARATE WEAR & GOODS
http://www.karatedo.co.jp/shobu　TEL.0553-23-5320
E-mail:shobu@sage.ocn.ne.jp　FAX.0553-23-5340
〒405-0018　山梨県山梨市上神内川996-2　空手衣の尚武

拳の履歴書

得意技の歴史を探る！

第五回／川和田実・副技術局長

（社）日本空手協会設立30周年を記念し、近代空手の父・船越義珍を偲んで開催された松濤杯争奪世界空手道選手権大会。記念すべき第1回大会は今から26年年前、日本武道館にて開催された。今回は松濤杯直前企画として、形・組手二冠を達成した川和田実師範にご登場いただいた。（以後敬称略）

病床で甘さと向き合う

――第一回松濤杯争奪世界空手道選手権大会はどんな気持ちで臨まれたのですか？

実はこの大会の2年前に開催された第4回ＩＡＫＦ世界大会に出場したかったのですが、不注意で大病を患ってしまい、出場を断念しました。

その病床で空手指導員という自分の立場や、勝敗にこだわらなかった甘さと向き合うこととなりました。

学生時代は皆で一丸となって団体戦で好成績を残しましたが、協会指導員となってからは無冠。若手も台頭し、初めて自分の置かれている状況が分かり、背水の陣で出場を決めました。33歳の時です。

――勝敗にこだわらなかった甘さとは、具体的にはどのようなことですか？

二十代の頃は、試合は本戦が勝負であって、延長戦（当時）は試合でないような気がしていました。

勝つにしても、負けるにしても、本戦で勝負を決めてしまいたいと考えていたことが、良い成績を残せなかった原因の一つだと思います。

――大会まではどのような稽古をしてきたのですか？

松濤杯の優勝という目標を成し遂げるため、具体的なメニューを考え、実行しました。

例えば、指導員稽古では、様々なタイプの指導員と練習していく中で、それぞれの得意技に対する攻略法を練っていきました。

また、指導員稽古（約2時間）の後に、一人稽古を2時間行っていたのですが、時には自分の会員を使って、相手と自分の位置取りや、間合いと受けを徹底的に行うなど、思い描いたイメージ通りに体が反応するまで追い込みました。

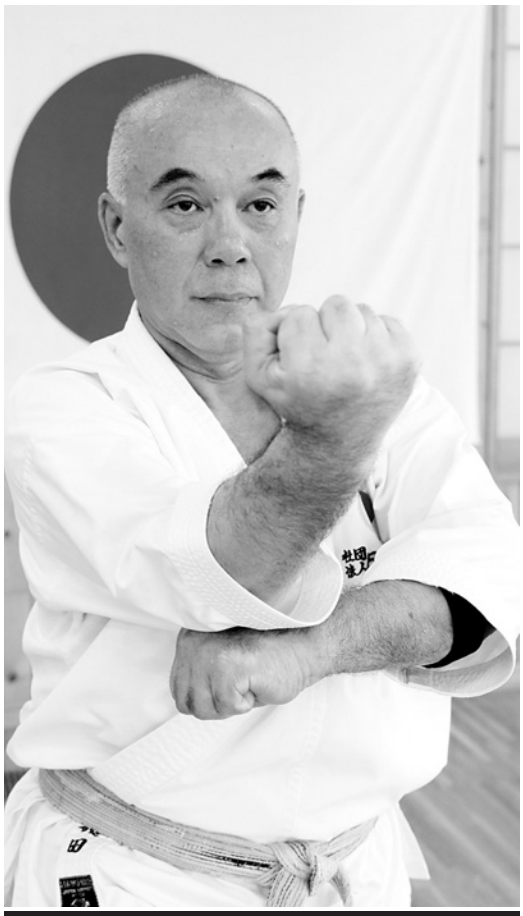
そのため、試合では相手の動きが手にとるように分かり、病気から復活して一年間積み上げてきた稽古の成果を思う存分発揮することができました。

正々堂々とやろうと握手

――勝負に徹した組手で決勝まで勝ち上がり、当時、若手の実力ナンバーワン・横道正明氏と対戦することになったそうですが、なぜ試合前に握手したのですか？

横道君は「握手は普通、試合が終わってからするもの。闘争心に水を差されてしまった。あれは川和田先輩の心理作戦だったのでは…」と思ったそうですが、それは違います。

もし心理的な策略など考えていたら、この勝負は負けていたことでしょう。



川和田実・副技術局長。茨城県出身、水城高校、拓殖大学卒業後、1～2年してから、JKAへ入所。七段。

また、私は横道君が良い組手をする選手だと知っていました。そのため、どちらが勝つにしろ、清々しい試合をしよう。

選ばれた二人だから、正々堂々と最高の試合をしようと思い、一生懸命やりましょうと手を差し出したのです。

――決勝の模様を教えて下さい。

私は逆体に構えました。しばらく見合った後、横道君は予想通り、真っ向勝負を仕掛けてきました。

その突きを後の先で払い、相手が技を出した瞬間を狙い、前足で前蹴りをしてタイミングを少しずらしてから、上段逆突きを極め、技有りを奪いました。

試合中は無の状態であり、自然と体が動き、持てる力を全てぶつけることができました。

その後も突きを上げ受けで受け捌き、二本目が来る前に左中段逆突きを極めて、一本を先取しました。

続く二本目は、遠い間合いから左前蹴りが綺麗に極まって技有り（間合いを詰め、タイミングを計って蹴りました）。

最後は跳び込んできた横道君のワン・ツーの間を縫って上段突きを極めて、技有り。合わせ一本となり、記念すべき第

決勝では前蹴りを極めた。「試合の“一勝”はただの一つの勝ちですが、勝負の“一勝”が、自分にとって大切であることを身を以て体験できました」

1回大会の王者となりました。

この大会では個人形でも優勝し、二冠を達成することができました。

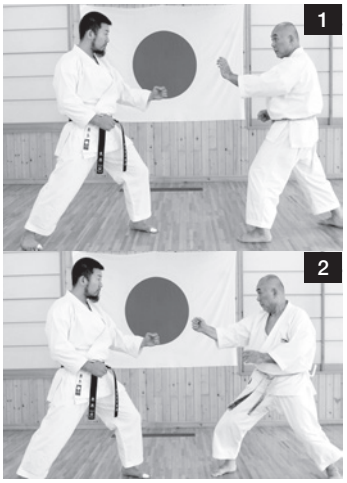
――トーナメントでよく使った左の前蹴りについて教えて下さい。

互いに見合った膠着状態。そうした時に私がよく使っていたのが、"スイッチしてからの中段前蹴り"です。

動揺した相手の一瞬の隙を見逃さず、ズバッと中段左前蹴りを極めるのが、私の得意パターンでした。

しかし、いくらスイッチしても、真正面から蹴りを放てば、かわされやすくなる。

私の場合は、左構えからスイッチして右構えに変化したときに、わずかに右斜め前へと移動し（写真1～2参照）、相手との中心線（攻撃ライン）から、少し体をずらした位置から蹴っていました（写真3～4参照）。


1

2

3

4

狙う場所は、相手の帯の上周辺です。相手の受けようとしたら、それを跳ね上げる位の気持ちで蹴って下さい。

ここぞというタイミングを見極め、コンパクトに抱え込んで、素早く正確に蹴りを出すことは難しく、繰り返し練習することが大切です。

また、蹴ろうという意識が強すぎて、上体を崩したり、軸足がぶれたりする人がいますが、それではすぐに次の攻撃に移ることができません。

極め、残心も素早くを心がけて、基本に正確な蹴りを行って下さい。

――当時、技術についてどのような考えを持っていましたか？

若い頃はどの技も、まず相手に対して真っ直ぐ突いて、真っ直ぐ蹴ることを前提として空手の技を考えていました。

しかし、25歳前後で空手の幅を広げるべく、技の理解度を深め、指導力も高めたいと考えた結果、自分と相手の間（互いの横幅）にある程度の幅があれば、もっと多彩な技を使うことができるのでは…と思い、研究を始めました。

5

6

7

8

9

それをふまえた上で、当時使っていた代表的な技は次の3つです。

1　裏拳

裏拳を放つタイミングは大きく分けると、三種類です。

①前に出ながら（写真5参照）

②相手に技を出させて、引き込みながら（写真6～9参照）

③斜めより捌きながら（写真10～13参照）

攻撃目標は、眉間・こめかみ・頸（けい）部・横顎です。

全ての技に共通することですが、間合いの遠近、位置取り等を考えなければ技は成功しません。私は遠い間合いが好きでしたね。

②は一歩後ろに下がり（両足同時）、相手の攻撃を受けた後、すぐさま寄り足を用いて、前に跳び込んで放つ裏拳をよくやりました。誘いが大切で、相手が技をかける瞬間を見逃さないで下さい。

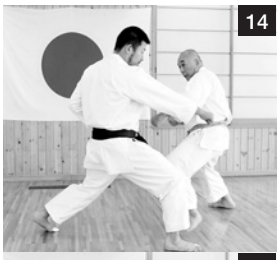
③相手の構えにより、内側・外側の二種類を使い分けました（写真14～15参照）。

10

11

12

13


14

15

研究として、指先を使うこともありました（私は指が短いため）。

昔はスイッチしてから上段蹴りを放つこともありましたね。

3　内廻し蹴り

①相手に突き等を出させるように誘い、中段及び上段に内廻し蹴り（写真19～21参照）。

縦と横の間合いを考え、技の極まりやすい角度・位置取りを考えて使っていました。

狙う場所は顎、首、中段ですが、相手の構えにより、内側・外側（後頭部）を使い分けること。

フェイントで前手・足を蹴って、次の技へとつなげるために内廻し蹴りを使ったこともあります。

16

17

18

19

20

21

2　廻し蹴り

①前足で上段・中段を狙う

②後ろ足で中段を狙う（写真16～18参照）

どちらも大切なのは、膝のかい込みです。コンパクトに抱え込み、膝からの下のスナップを十分に使って蹴ることが大切です。

私は手の下を狙って蹴っていました。

虎趾（こし）で蹴ることが基本ですが、

――試合が終わった後の感想を教えて下さい。

横道君と清々しい試合ができ、自分の空手を存分に表現できたと思います。

また、今までは勝敗にこだわらない性格が甘さに繋がっていましたが、それを克服し、結果を残せたことに意味があったと思います。

現在は座右の銘である"捲土重来※1"という言葉を頭に描きながら、日々稽古に励んでおります。

今年は12回目となる松濤杯が8月にタイ国で開催されますが、どのようにすばらしいと思っても、極めのない空手は空手ではありません。

勝つことも大切ですが、技が速ければ、足が届いていれば良いという考えは駄目。選手には基本を崩さず、組手に活かし、極めのある協会の空手の素晴らしさを体現してもらい、武道空手の最高峰のレベルの試合を多くの方に見て頂ければと思います。

※1　杜牧「題烏江亭」の「巻土重来未(いま)だ知る可からず」から。物事に一度失敗した者が、非常な勢いで盛り返すこと。

DVD VIDEO　鋭意制作中！
BEST KARATE
中達也のベスト空手２
武道空手身体操作奥伝
「中 達也・極意」
― 相手が反応しにくい技と、その運用 ―
■商品番号：DCMP-222（DVD）　■収録時間：カラー 50 分（予定）　■6,000 円（税込）→先行予約価格：5,000 円（税込）にて申込み受付中！
「形は不安定からセンスを創り
修練は心の安定を造る。」
商品のお問合せ・ご注文はこちらまで　受付時間 AM9:30 ～ PM18:30　定休日 日曜日、祝日
TEL: 03-3315-3190　FAX: 03-3312-8207
CHAMP
(株)チャンプ 営業部　〒166-0003　東京都杉並区高円寺南4-19-3 総和第二ビル2階
http://www.champ-shop.com/

会得した真理を実践する空手道

諦を悟る

※諦＝真理・まこと

第六回　無心＝無意識の力

森俊博（もり・としひろ）
プロフィール

昭和25年、宮城県亘理町出身。昭和48年東北学院大学（経済学部）卒業。第４回全空連全日本空手道選手権大会優勝（昭和50年）。第21回JKA全国大会（昭和53年）、第23回大会優勝（昭和55年）。第３回 IAKF世界空手道選手権優勝（昭和55年）。師範、総本部理事、国際理事、政策委員。

守一の「陽のなくなった日」を見るため、岡山県の大原美術館に行くなど、芸術に対して造詣の深い森氏（前列中央）。

私が好きな熊谷守一の絵に「山形風景」という作品があります。晩年にこれ以上単純化しようがないという極限まで単純化し、きちっと線でかこまれ、誰もが熊谷守一の絵だとわかるきっかけとなった絵です。

守一が絵を描けなくなってから、描き出し始めた絵で、セザンヌの絵の如く全体のバランスが取れており、「無心」に表現された絵です。

自分の描き方を創出することも困難なことですが、でき上がった描き方を破棄し、新しい独特な描き方を作り出すことは、もっとも容易ならざる技ではないでしょうか？　守一は「無心」に徹する事で成し遂げたのです。

また晩年の書は、良寛以上の書ではないかと言われております。「絵」にも「字」にも全く邪念がなく、自然そのもののように素直で、あるがままで、見ているだけで心が洗われる気がします。

私たちも「空手」を通して「無心の境地」に行き着く事を目標に努力していかなければなりません。

私が全日本空手道連盟主催の第４回全日本大会で優勝した時のことです。

決勝戦の相手は、早川憲政選手でした。最初に私が足払いで攻撃したところ、逆突きで技ありを取られ、次に私が上段突きで取り返し、引き分けの状況となりました。

その後、不恩議なことが起こりました、何とも言えない静寂な世界の中で、それと何ともいえない「厳粛」な気持ちの中で「光」に包まれその空間に漂っていました。すると、早川選手の動きがスローモーションに見え、自然に体が動き、出合いの逆突きを出していました。歓声で我に返ったとき、私が勝っていたのです。

これが初めての出合いの技でした（それまで、私は出合いの技をやったことがありませんでした）。今もそのときの光景が頭に残っています。

沢庵禅師が柳生但馬守に与えた「不動智神妙録」の中に、千手観音の具体例をあげて、無心の境地を述べています。

「千手観音とて、手が千御入り候はゞ、弓を取る手に心が止らば、九百九十九の手は皆用に立ち申す間敷。一所の心を止めぬにより、手が皆用に立つなり。

観音とて身一つに千の手が何しに可有候。不動智が開け候へば、身に手が千有りても、皆用に立つと云う事を、人に示さんが為めに、作りたる容にて候」

意味／千手観音とて、手が千本おありになりますが、もし、弓を持っている一つの手に心がとらわれてしまえば、残りの九百九十九の手は、どれも役にたちますまい。一つの所に心を止めないからこそ、千本の手が皆、役に立つのです。

いかに観音とはいえ、どうして一つの身体に千本もの手を持っておられるのかといえば、不動智を身につけることができれば、たとえ身体に千本の手があったとしても、立派に使いこなせるのだと言う事を人々に示すために作られた姿なのです。

「不動智」と「無心」は、誘惑に乱されない正しい無意識の力の発揮した時です。

「無心」の境地に至るには、緊張感と氣を自分自身に取り得ることが必要となります。

空手の試合で技を出すときは、いつも「無心」に技を出していたから、勝つことができたと私は思っています。

最後に王陽明（１４７２～１５２８）の漢詩を一つ記しましょう。

溪邊坐流水　水流心共閑
不知山月上　松影落衣斑

意味／谷川の清流に向かって坐っていると、水は静に流れて、わが心とともにのどかである。

いつしか日が暮れて、山の端に月が昇ったのも気付かずにいたが、月の光に照らされた松の葉の影が、わが衣の上に落ちて、まだらにうつっていた（流水に忘我の境を託し、山月に悟りの境地を表した歌）。

上／第一回目のJKA被災地支援プロジェクトに参加した皆さん。

かなりの高さまで津波が来たことが分かる。

海岸の風景。船も押し流されていた。

（報告／半崎靖雄、中達也、根本敬介）

東日本大震災支援活動報告

4月14日（木曜日）、東日本大震災の復興支援の一環として、石巻市を訪問、支援活動、及び現地の視察を行ってきました。

成瀬支部長の加藤吉広先生、そして会員やその家族が10名ほどなくなっており、また多くのJKA会員が被災されています。

会員の皆様から多くのチャリティ資金をお預かりいたしました。4月14日の総本部からの支援は5000食のカップヌードルを用意しました。

また、薙野英児九州地区本部長と松浦修士理事が九州から2日間のロングドライブを敢行、被災地石巻に支援活動に来ました。九州ラーメン1000食の炊き出し、八女茶と小城羊羹500セットを用意されていました。

今回、総本部で用意した支援物資を石巻地区の先生方にお預けする形を取り、現地の先生方が一番必要とされている方法で遣って頂きたかった為です。現地の先生方で支援物資の使い方を検討していただき、被災の度合いの強い渡波地区で配給していただく事になりました。

支援物資は30分で配り終えました。

今後も現地のJKA会員の要望に沿った形で支援活動を続けていく予定です。

右／津波が地形を一変させた。

社団法人日本空手協会 研修生入所式

平成23年4月1日（金）研修生入所式が行われた。

専任研修生として飯村更毅哉が入所し、また練習生としてリカルド・ファーマー・ラーセン（ノルウェー）が入所した。

入所式では飯村研修生、リカルド練習生の両名が形を演武し、飯村研修生には、植木政明首席師範から激励の言葉が贈られ、また研修生としての心得を説かれた後、辞令と名札が手渡された。

飯村研修生は大正大学空手道部の主将を務め、また大学時代は選手として優秀な成績を収めた。

研修生として、これからの活躍が期待される。

またリカルド練習生の、「目指すは研修生」の挑戦が始まる。

形演武する飯村研修生。

「東北地方・太平洋沖地震、津波災害義援金」のお願い

3月11日午後に発生した「東北地方・太平洋沖地震」並びに「大津波」の被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。また、この度の被災により亡くなられた方々にも衷心よりお悔み申し上げ、哀悼の意を表します。

今回の地震、並びに大津波の被災地・被害者の救援のため、社団法人日本空手協会は「東北地方・太平洋沖地震、津波災害義援金」の口座を設け、義援金の募金を呼びかけております。

下記口座にお寄せいただきました義援金は、社団法人日本空手協会が責任を持って全額産経新聞社にお届けします。ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

併せて、災害対策の最前線においてご尽力されている官庁、消防、病院、警察、自衛隊の皆様の安全を心より祈念申し上げます。

社団法人日本空手協会　会長　中原伸之

《東北地方・太平洋沖地震、津波災害義援金受付口座》
みずほ銀行　飯田橋支店　普通口座　2432570
口座名　社団法人日本空手協会会長中原伸之

※ご利用金融機関が設定する振込手数料が別途かかります。
※この募金は、指定寄付金として扱われ、寄付金控除の対象となります。

【この件に関するお問合せ先】
社団法人日本空手協会
〒112−0004　東京都文京区後楽 2−23−15
TEL:03−5800−3091／FAX:03−5800−3100　E-mail:senmuriji@jka.or.jp

名前／飯村 吏毅哉
生年月日／1988年9月12日生
22歳
出身地／茨城県
出身校／東洋大学牛久高校、
大正大学
段位／弐段
趣味／スポーツ観戦、格闘技観戦
主な戦績／協会全国大会ベスト8
関東学生選手権大会　第3位
関東学生体重別選手権大会　2位
今後の抱負／先輩方の様に強くなるため日々頑張っていきたいと思います。
　また、立派な指導員となるために、先生や先輩方の指導をしっかり学び、研究していきたいと思います。そして、将来は全国大会で優勝できるような人間になりたいです。

辞令授与。

国内便り

みんなで伝えよう心と技！

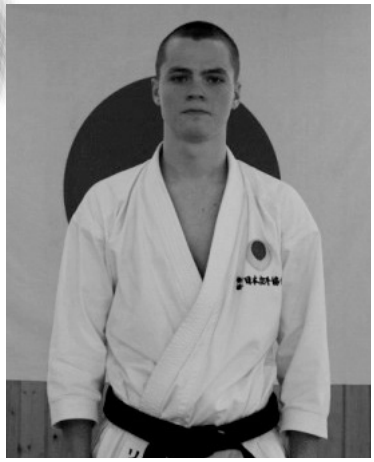
From 山梨県本部

指導者講習会＆昇段審査会

平成23年4月24日、社団法人日本空手協会の総本部より、大隈広一郎指導員をお迎えし、山梨県指導者講習会と昇段審査会を行いました。
　当日は、一般現役選手と県内指導者が昭和町総合体育館内武道場に集まり、午前のみの限られた時間の中、組手と形を中心に指導していただきました。
　組手は目慣らしから始まり、足を使い、受け、返し、残心を意識する内容と、年齢に合わせた稽古方法などを指導して頂きました。
　形は指定形を中心に受講者からの疑問点などを解り易く、熱のこもった指導を二時間受けました。
　午後から昇段審査を行い、大勢の合格者とアドバイスを頂き一日が終了しました。
　今回の大隈指導員の指導で、日々の基本稽古の大切さ、空手協会の空手道を改めて勉強させていただきました。

（報告／山梨県本部　三井秀高）

参加した皆さん。



名前／リカルド・ファーマー・ラーセン
Richard Kvarme Larsen
生年月日／1991年3月5日　20歳
出身地／ノルウェー
出身校／Jotto vidergoende skole High school
段位／弐段
趣味／スノーボード
主な戦績／2010　Norway masterscup
形2位　組手3位
今後の抱負／私は練習生として頑張ります。そして研修生になることを目指し、研修生として卒業することが目標です。
　将来は母国ノルウェーで空手の指導をしている父と共に、総本部で培ったことを空手の指導で生かし、また空手の発展と普及のために努めたいと思っています。

空手用品総合メーカー JKAマーク入りグッズ多数取り扱い中！ http://www.tokyodo-in.co.jp
株式会社 東京堂インターナショナル
東京堂 空手 検索
（カタログ無料発送中）
NEW items アスリートZERO AT-0
まだまだ進化し続ける
東京堂インターナショナルの空手衣
価格例：4号 ¥17,430
AT-1を超えたニュータイプの空手衣
更なる軽量化を実現！
その他グッズもネットショップで好評発売中！
0120-35-2997
〒111-0052 東京都台東区柳橋1-10-9
TEL：03-3866-2997 FAX：03-3864-9645
info@tokyodo-in.co.jp
九州支社 〒890-0016 鹿児島県鹿児島市新照院町1-19
TEL：099-255-8471 FAX：099-255-1547
0120-219-170（九州支社フリーダイヤル）
kyusyu@tokyodo-in.co.jp
※㈱東京守礼堂インターナショナルは平成19年4月に㈱東京堂インターナショナルへと社名変更させて頂きました
日本空手協会 J.K.A 東京堂インターナショナル
WASH IN COLD DO NOT USE COMMERCIAL DRYERS MADE IN JAPAN
【日本空手協会指定ラベル】お付け致します！
SPECIALIZING IN AUTHENTIC MARTIAL ARTS EQUIPMENT
Natural Simple Life
TOKYO JAPAN
TOKYODO INTERNATIONAL

海外便り

世界で頑張る仲間たち！

From JKA インド

インド国内合宿及び選手権大会

去る1月21～28日、35周年記念をかねた第28回国内合宿が国際リゾート都市であるゴアにて行われました。

この合宿には、総本部から、植木政明・首席師範と全国大会王者・根本敬介指導員が訪れました。

スケジュールは、合宿は5日間、大会は3日間。5日間で合計259名のメンバーが集まりました。アメリカ、スウェーデン、スイス、ニュージーランドからの参加者も居ました。

合宿の最初の稽古は、根本先生が担当し、インドの首席師範であるアナンド・ラトナ先生がアシストしました。

半身の位置から正面や逆半身へ移行する際、腰の回転を伴うことなどが伝えられました。

午後に入ると、開会式がインドの伝統的手法で行われました。

アニル・シンハ会長が歓迎の挨拶を行い、次に挨拶した植木先生に献花およびインディアン・ショールが送られました。

そして、開会式は、植木先生、根本先生、シンハ会長、アナンド・ラトナ先生によるランプの点灯というインド伝統の儀式で終わりました。

開会式後に行われた稽古は、植木先生が指導しました。

スタンスや姿勢を例にとって、膨大な技の根源にある原理を説明するたび、拍手がわきました。

形の指導も行われ、平安初～五段や鉄騎を通して、上達を促すポイントが多数披露されました。

最後は植木先生の「無駄のない動きから生じる美しさ」という言葉を意識しながら慈恩を行い、初日の稽古は終了しました。

その日の夜は、歓迎会が行われ、皆リラックスした気持ちで楽しみました。

翌日の稽古は、ジュニアとシニアを分けて行われました。

植木先生はシニアを教え、根本先生は子供たちのグループを担当しました。

シニアのクラスでは各自のレベルに会わせて、適正な間合い、足捌きの原理を学びました。

植木先生の動きは、年齢を感じさせず、全ての参加者を魅了し、身を以て我々が最善を尽くすことを促しました。

二人一組の練習が続いた後、最後は乱取りを行いました。

午後は二人組となってストレッチを行った後、参加者が昇段に必要な形を植木先生に指導してもらいました。

さらに抜塞大、二十四歩、慈恩も行いました。

合宿三日目の午前中は、前蹴り、横蹴、廻し蹴りなどに費やされました。

植木先生は蹴りの名人として、インドで知られていたため、指導を受けた皆は感動を覚えました。

午後の稽古は、審判員技術、抜塞小の指導が行われました。

四日目は、根本先生とアナン先生が中心となりました。根本先生がシニアグループを教えている間、アナン先生がジュニアグループを教えました。

根本先生は寄り足、継ぎ足、追い足などのフットワークドリルを披露したのですが、参加者はその動きに驚きました。

その後、約束組手、自由組手をが行われました。

午後の稽古は形が行われ、後日行われる指導員試験の説明も行われました。

五日目は、昇段・資格試、年次総会等が行われました。植木先生が最終日には非常に忙しくしていたことは高段者の試験がたくさんあったことの証明でした。

また、最初の予定は1日に1時間×4コマの予定でしたが、全てのクラスで時間が延長となりました。

それは我々が植木師範から学びたいという熱意の表れでもあり、多くの人間が仕事や学校に行きながら、参加していました。

この合宿の後、1月26～28日まで、第28回インド国内の全国大会が行われ、21州513名が参加しました。

武道空手の側面を持つこの大会は年々参加者が増え、多くの種目で見直しが行われています。

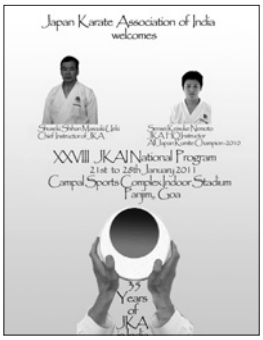
今年8月に開催される世界大会に参加するメンバーは、出発前に強化合宿することが決まりました。

今回の合宿及び大会の結果の詳細については、http://www.jkaindia.org JKAIのウェブサイトで確認することができます。

（報告／アナンド・ラトナ）

上／インドへ初めて来た植木師範。参加者を魅了し、誰もが畏敬の念を抱いた。

上／開会式の様子。合宿の模様が地元のメディアでも放映された。



右／インドで張り出された告知用のポスター。

From JKA スロベニア

スロベニア合宿

去る5月6～8日、ツェリェにおいて、地元の空手クラブ松涛ツェリェの助けを借りて、第7回JKAスロベニア合宿を開催しました。

この合宿には、マケドニア、ブルガリア、ロシア、セルビア、ハンガリー、イタリア、チェコ共和国、スイス、フランス、デンマーク、ドイツ、オーストリア、英国、日本、スロベニアから、270人以上が参加しました。

また、今回の合宿には次の素晴らしい指導者が招かれました。

田中昌彦（総本部）、沢田和弘（ベルギー）、内藤武史（イタリア）、猪越悠介（総本部）

稽古は、2つまたは3つのグループに分けて、一日8時間行われました。

初段から五段のクラスは、基本に始まり、組手技術と型・抜要大、慈恩、観空大、

右／合宿に参加した皆さん。

指導を行う田中師範。

半月、岩鶴の指導が行われました。

田中師範は、完璧な基本と、特別な組手技術のいくつかを紹介しました。合宿の最後には、岩鶴の分解も説明してくれました。

沢田師範は、慈恩、観空大、半月を担当しました。半月では、適切なスタンスと正しい呼吸、技術を教えて頂きました。四方向へ寄り足等を用い、そのまま組手に使えることを教えて頂きました。

内藤師範は組手技術に時間を費やし、寄り足・出足払いを教えてくれました。

猪越先生は、田中師範のアシストを務め、また、彼の素晴らしい演武で大いに会場が沸きました。

猪越先生のクラスでは、基本、抜要大、岩鶴が行われました。

2日目の後に、初～五段の昇段試験と国際指導員、審査員、審判員の資格取得試験も行われました。（報告／ユーリ・スービック）

From JKA インド

冬期合宿

去る1月5～9日、GCCクラブ主催によるJKAインド冬期合宿がムンバイにて行われました。

総本部から派遣された大隈広一郎師範は、カリスマ的な教育方法とJKA空手の深い知識で常に我々に新鮮な驚きを与えてくれる人物です。

5日間の合宿では、1つの型、2つの組手技術、約10の基本の組合せが練習の中心となりました。

昨年度の合宿の復習から始まり、八字立ち、半月立ち、様々なスタンスで基本を行い、筋肉の収縮・膨張等を確認しました。

Charanjit singh氏、Ujjwal Trikha氏とRidish thakor氏ら優秀な人材が支えるJKAインド。

また、抜塞大、基本一本組手、自由一本組手では、攻撃のラインを理解し、軸をまっすぐにして、力の強弱、体の伸縮、技の緩急を用いて、適切な受けと反撃を行うよう指導されました。

その他にも、大隈師範は、伝統的な松濤館スタイルがなぜ腰の高さを変えずに、受け及び反撃を行うのか。その答えを、科学的説明と実技を交えて説明してくれました。

さらに攻撃時に爆発的なスタート（力と速度を伴う）を実現するための足運び等も学ぶことができました。

大隈師範の指導は徐々に熱を帯び、その情熱は会場全体を包み込みました。

我々も大隈師範の期待に応えようと懸命に汗を流しました。

その結果、最終日に行われた昇段審査では、初段16名、二段5名、三段5名、また5名のD級審判員と指導員が誕生しました。

昨年より二倍以上の合格者を出したことを我々は誇りに思います。

今後も、総本部との信頼関係を深め、インドで正しいJKA空手を普及・促進に励みたいと思います。

最後に我々のために新年の休日を犠牲にして、我合宿に来てくれた大隈師範に感謝したいと思います。

（報告／ミラノ・トリベディ）

From JKA スウェーデン

秋期合宿

去る2010年10月12～18日、スウェーデンに今村富雄師範をお招きし、秋合宿を開催しました。

以前の合宿はマルメーに来ること、茶帯、黒帯以上という条件がありましたが、今年から、今村師範が各地を移動し、3つクラス①子供②4級から下③茶と黒帯に分けて、指導を行うこととなりました。

マルメーを拠点とし、13日は80キロ北のヘルシングボリ、14日は150キロ北にハルムスタード、15日は170キロ東のカールスハムンへと移動し、16～17日は再び、マルメーへと帰ってきました。

スウェーデン南部では多くの弟子が総本部指導員による指導を望んでいました。今村先生は彼らに対し、親しみやすい態度で接し、練習では、立ち方や速く強い腰の正しい使い方等を強調されました。

また、弟子の多くがJKA空手の本質にふれながら、合宿を楽しんでいたことが印象的でした。

近い将来、再び今村師範の指導を受けることを望んでいます。

（報告／テッド・ヘドランド）

From JKA オークランド

オークランド合宿

去る2011年6月13～18日、ニュージーランドに平山裕子先生が訪れました。

女性の総本部指導員が正式に我々の国を訪問したのは初めてです。

平山先生は、合宿に参加した老若男女合わせて167名の前で驚くべき技術、成熟した教育能力と理路整然と発揮しました。

親しみやすくて礼儀正しい平山先生の訪問は、2013年に女性を対象としたセミナーの開催を検討するまで発展しました。

総本部の協力と理解を得て、この計画を実現できればと考えています。

セミナーに参加した皆さん。前列中央は翌週はオーストラリアへ旅立った平山師範。

（報告／オークランド代表・Zeljan Unkovich）

空手道に関する商品を

全国ネットでスピード配送致します。

空手衣の YAMAGA

株式会社 山雅

〒574-0046 大阪府大東市赤井1－7－4

TEL(072)870-3677・FAX(072)870-3678

URL : http://www.yamaga-karategi.com

E-mail : info@yamaga-karategi.com

●小学5年男子①三尾浩輔（神戸中央）②内橋優輝（西脇）③新田琉偉（神戸中央）、小橋秀伍（神戸中央）
●小学6年男子①中井隆人（六甲）②好川和真（六甲）③山崎壱大（六甲）、小林優暉（東灘）
●中学生女子①神田麻那（コナミ東加古川）②金　佳妙（神戸中央）③三尾　遥（神戸中央）、高尾希美（神戸中央）
●中学生男子①木下慎一郎（コナミ東加古川）②藤田翔（稲美）③小柳　慧（神戸中央）、浦野寛太郎（コナミ東加古川）
●高校生男子①後藤　玄（神戸学院）②木村　勇（神戸学院）③福本祐基（神戸学院）、牛尾瑞貴（神戸学院）
●一般級男子①小林卓真（神戸学院）②瓦井善貴（兵庫県大）③薮田幸悦（兵庫県大）、張ジョナサン（神戸）
●一般女子①藤田園子（稲美）②岡﨑ゆかり（東灘）③ 髙﨑　彩（西脇）、辰巳　舞（神戸学院）
●一般男子①畑　嘉憲（稲美）②小幡直人（明石）③清家豊治（兵庫県大）、西田博史（西脇）

形 の 部

●小学1年生以下男女①今富花怜（神戸中央）②門依乙那（神戸中央）③宮崎愛夕（神戸中央）、島津孝到（神戸中央）
●小学2年生男女①鈴木早香（稲美）②川村　壮（コナミ新長田）③森崎　朱（神戸中央）、多田香凛（神戸中央）
●小学3・4年女子①中埜香歩（神戸中央）②金澤夢愛（西脇）③鈴木日賀（稲美）
●小学3年男子①舛賀陽大（神戸中央）②木村　光（神戸中央）③野田　匠（コナミ新長田）
●小学4年男子①中西駿輔（稲美）②茨木颯介（稲美）③高岸優陽（西脇）
●小学5・6年女子①石津朱美（稲美）②金澤夏夢（西脇）③木下さくら（コナミ東加古川）
●小学5年男子①三尾浩輔（神戸中央）②新田琉偉（神戸中央）③六倉輝拓（神戸中央）
●小学6年男子①好川和真（六甲）②中井隆人（六甲）③青木嶺児（神戸中央）
●中学生女子①神田麻那（コナミ東加古川）②三尾遥（神戸中央）③金　佳妙（神戸中央）
●中学生男子①浦野寛太郎（コナミ東加古川）②木下慎一郎（コナミ東加古川）③西口　遼（東灘）
●一般級女子①神田早苗（稲美）②浦野ゆかり（稲美）③辰巳　舞（神戸学院）
●一般級男子①瓦井善貴（兵庫県大）②木村　勇（神戸学院）③清水琢己（神戸中央）
●一般女子①藤田園子（稲美）②岡　ゆかり（東灘）③　　彩（西脇）
●一般男子①後藤　玄（神戸学院）②畑　嘉憲（稲美）③小幡直人（明石）

第49回全北海道空手道選抜選手権大会

平成23年4月23・24日　北海道・千歳市武道館

組 手 の 部

●小学1・2年生男子①高橋龍虎（上ノ国支部）②石田敬大（江差支部）③長坂龍馬（旭川大雪支部）④東口颯斗（福島支部）
●小学1・2年生女子①清水柊衣（江差支部）②田村梨奈（札幌北支部）③斉藤美鈴（松倉道場）
●小学3年生男子①森髙虎次朗（江差支部）②上田大晟（稚内支部）③清水景哉（江差支部）④菊地遼太（旭川大雪支部）
●小学3年生女子①三橋志乃（八雲支部）②三浦璃子（江別支部）③中村美水（松倉道場）
●小学4年生男子①紙谷胤圭（函館支部）②今成哲也（旭川大雪支部）③村上悠羽（美唄東支部）④白井伶（由仁支部）
●小学4年生女子①川村絵理（札幌中央支部）②佐久間雪音（札幌西支部）③吉田陽菜（今金支部）
●小学5年生男子①中村彰吾（標津支部）②深尾拓真（美唄東支部）③中塚陸朗（福島支部）④知久恵介（美唄東支部）
香蓮（熊野支部）③伊藤有利菜（四日市支部）
●一般男子①糸川秀幸（尾鷲南支部）②樋口龍弥（富洲原道場）③山口航平（四日市南支部）

第35回愛知県空手道選手権大会

平成23年4月10日　千種スポーツセンター

組 手 の 部

●小学1・2年生①滝川愛莉（名古屋中川支部）②大関裕太郎（春日井支部）③窪田頼生（名古屋中川支部）、各務巧人（名古屋中川支部）
●小学3年生①滝川　翔（名古屋中川支部）②小林諄也（岡崎支部）③各務引一（名古屋中川支部）、相山伊吹（名古屋中川支部）
●小学4年生①藤原昂大（名古屋中川支部）②前田雄祐（美浜支部）③大川雄大（名古屋中川支部）、鷲津完汰（尾張支部）
●小学5年生①山中健生（名古屋中川支部）②河野元（尾張支部）③平野友菜（岡崎支部）、大川　諒（名古屋中川支部）
●小学6年生①乙子トオル（尾張支部）②野田瑛一（尾張支部）③須崎　遥（名古屋中川支部）、鳥居直也（名古屋中川支部）
●中学生男子①松本　亮（名古屋中川支部）②大関将真（春日井支部）③黒田　真（名古屋中川支部）、河野直樹（尾張支部）
●中学生女子①瀬戸望都（尾張支部）②松本あすか（名古屋中川支部）③河野　愛（尾張支部）
●高校生男子①松本丈二（名古屋中川支部）②石川拓磨（春日井支部）③田名邊朋成（春日井支部）
●高校生・一般女子①篠田美優（尾張支部）②島田理磨（愛知学院大歯）③久保千秋（愛知学院大歯）
●一般男子①柚木健彰（愛空会）②竹内一将（知多支部）③川合義仁（知多支部）、小原　賢（愛知県本部）

形 の 部

●小学1・2年生①滝川愛莉（名古屋中川支部）②大関裕太郎（春日井支部）③野田理紗子（尾張支部）
●小学3年生①滝川　翔（名古屋中川支部）②小林諄也（岡崎）③各務引一（名古屋中川支部）
●小学4年生①窪田謙心（名古屋中川支部）②藤原昂大（名古屋中川支部）③本田まなみ（愛知県本部）
●小学5年生①大川　諒（名古屋中川支部）②山中健生（名古屋中川支部）③森田竣也（岡崎支部）
●小学6年生①鳥居直也（名古屋中川支部）②乙子トオル（尾張支部）③野田瑛一（尾張支部）
●中学生男子①松本　亮（名古屋中川支部）②三島充規（岡崎支部）③小林祐貴（岡崎支部）
●中学生女子①松本あすか（名古屋中川支部）②瀬戸望都（尾張支部）③鈴木香穂（碧南支部）
●高校生男子①松本丈二（名古屋中川支部）②藤原将恭（瀬戸支部）③石川拓磨（春日井支部）
●高校生・一般女子①滝川ひろ美（名古屋中川支部）②篠田美優（尾張支部）③川嵜まどか（愛知県本部）
●一般男子①篠　和基（名古屋中川支部）②ヴィッテ・オリヴァ（名古屋中川支部）③伊藤文吾（春日井支部）

第40回兵庫県空手道選手権大会

平成23年4月24日　兵庫県立武道館

組 手 の 部

●小学1年生以下男女①茨木琉之介（稲美）②今富花怜（神戸中央）③松並萌果（稲美）、鈴木翔真（横尾）
●小学2年生男女①多田香凛（神戸中央）②鈴木早香（稲美）③田中　颯（神戸中央）、川村　壮（コナミ新長田）
●小学3・4年女子①金澤夢愛（西脇）②中埜香歩（神戸中央）③劉　祉阳（神戸中央）、福井香音（明石）
●小学3年男子①平山優汰（稲美）②仙石　曹（コナミ新長田）③舛賀陽大（神戸中央）、浅野柊翔（稲美）
●小学4年男子①中西駿輔（稲美）②茨木颯介（稲美）③高岸優陽（西脇）、青木崚祐（神戸中央）
●小学5・6年女子①石津朱美（稲美）②金澤夏夢（西脇）③多田卯蘭（神戸中央）、来住優里（西脇）

★★大 会 結 果★★

第62回三重県空手道選手権大会

［平成23年］3月20日　安濃中央総合公園内体育館

組 手 の 部

●小学校2年生以下(男女混合)①今村希来（四日市南支部）②勝本健斗（四日市南支部）③為西勇斗（川越支部）
●小学校3年生男子①橋本成矢（久居松阪支部）②辻翠輝（熊野支部）③曽越大成（紀南支部）
●小学校3年生女子①星野ひかる（桑名支部）②西川夏鈴（尾鷲南支部）③松田すず（熊野支部）
●小学校4年生男子①前畑　州（三雲支部）②宇井遼太郎（熊野支部）③吉田慎佑（熊野支部）
●小学校4年生女子①右城沙也花（四日市南支部）②杉野美結（四日市南支部）③東　郁佳（熊野支部）
●小学校5年生男子①山本湧太（四日市南支部）②岩本雄勢（熊野支部）③大田正人（富洲原道場）
●小学校5年生女子①畑中愛琳（四日市南支部）②水谷瑞己（川越支部）③酒井彩名（尾鷲支部）
●小学校6年生男子①草川周輝（四日市南支部）②平田雄大（三雲支部）③坂本瑞樹（尾鷲支部）
●小学校6年生女子①山下ひかり（四日市南支部）②川邉佳奈恵（楠道場）③山添純佳（四日市南支部）
●中学校1年生男子①橋本有矢（久居松阪支部）②中村圭佑（尾鷲南支部）③長谷川駿（尾鷲支部）
●中学校1年生女子①石田莉佳子（四日市南支部）②長谷川美夏（三雲支部）③山本りい子（紀南支部）
●中学校2年生男子①世古幸輝（尾鷲支部）②浅山豊（熊野支部）③橋本朋典（尾鷲支部）
●中学校2・3年生女子①上地葉月（紀南支部）②畑中咲莉衣（四日市南支部）③伊藤優衣（四日市南支部）
●中学校3年生男子①掃詰開士（尾鷲支部）②山田大空（熊野支部）③川内暁貴（尾鷲南支部）
●高校生男子①服部泰之（尾鷲支部）②岡野拓馬（久居松阪支部）③伊藤誠真（四日市南支部）
●高校・一般女子①伊藤玲奈（四日市南支部）②伊藤有利菜（四日市支部）③中村茉里加（尾鷲南支部）
●一般男子①糸川秀幸（尾鷲南支部）②樋口龍弥（富洲原道場）③村田道恒（尾鷲支部）

形 の 部

●小学校2年生以下
男女混合①森尾真帆（久居松阪支部）②今村希来（四日市南支部）③為西勇斗（川越支部）
●小学校3年生男子①橋本成矢（久居松阪支部）②政田大心（久居松阪支部）③田村陸人（四日市北支部）
●小学校3年生女子①畑中彩留葉（四日市南支部）②中島彩夢（四日市北支部）③神尾咲々愛（白山支部）
●小学校4年生男子①高村　晴（白山支部）②前畑州（三雲支部）③吉田慎佑（熊野支部）
●小学校4年生女子①右城沙也花（四日市南支部）②杉野美結（四日市南支部）③東　郁佳（熊野支部）
●小学校5年生男子①右城翔大（四日市南支部）②政田大登（久居松阪支部）③新谷健人（尾鷲支部）
●小学校5年生女子①畑中愛琳（四日市南支部）②鈴木詩乃（楠道場）③沼田大空（久居松阪支部）
●小学校6年生男子①櫻井一圭（四日市北支部）②松下剛士（尾鷲支部）③南部優友（桑名北支部）
●小学校6年生女子①山下ひかり（四日市南支部）②川邉佳奈恵（楠道場）③川上友愛（川越支部）
●中学校1年生男子①橋本有也（久居松阪支部）②酒井康彰（尾鷲支部）③日浦　丈（熊野支部）
●中学校1年生女子①石田莉佳子（四日市南支部）②長谷川美夏（三雲支部）③西口果穂（久居松阪支部）
●中学校2年生男子①一戸来広輝（川越支部）②世古幸輝（尾鷲支部）③小田　琉鳳（久居松阪支部）
●中学校2・3年生女子①上地葉月（紀南支部）②畑中咲莉衣（四日市南支部）③伊藤優衣（四日市南支部）
●中学校3年生男子①掃詰開士（尾鷲支部）②山田大空（熊野支部）③堀木大地（楠道場）
●高校生男子①掃詰友志（尾鷲支部）②上地悠太（紀南支部）③小田宗太郎（久居松阪支部）
●高校・一般女子①伊藤玲奈（四日市南支部）②山田

●中学1年女子①福島　舞（伏見支部）②中瑠璃香（伏見支部）③織部　雅（宇治支部）④大野桃花（京田辺支部）
●中学2年男子①金ヶ崎智秀（宇治支部）②若林翔伍（宇治支部）③草留　慧（上京支部）④片山拓海（宇治支部）
●中学2・3年女子①杉山雛乃（伏見支部）②安田優香（宇治支部）③池本　茜（綾部支部）④藤井　遥（舞鶴田辺支部）
●中学3年男子①寺下　将（宇治支部）②絹傘　集（宇治支部）③佐々木広太（伏見支部）④安達悠大（上京支部）
●高校男子①織部修也（宇治支部）②子安凌太（舞鶴田辺支部）③山田祥博（宇治支部）④赤星天馬（東舞鶴支部）
●高校・一般女子①内田早紀（京都産業大学）②建部紗希（京都産業大学）③常徳　舞（京都産業大学）④伊藤美咲（京都産業大学）
●一般男子段外①足立高義（福知山支部）②小山慎汰郎（京都産業大学）③ロバート・ピータース（上京支部）④藤原昌人（西舞鶴支部）
●一般男子①杉尾駿也（京都産業大学）②一瀬健太（京都産業大学）③高山享平（京都産業大学）④一瀬勇希（京都産業大学）

形の部

●小学1年男女①辰巳碧希（宇治支部）②古川大翔（宇治支部）③村岡風花（綾部支部）④笹井威吹（宇治支部）
●小学2年男女①梅垣三志郎（綾部支部）②林　実結（西舞鶴支部）③土山晟之介（宇治支部）④上田晃大（宇治支部）
●小学3年男子①安達惠哉（上京支部）②多門　瞭（上京支部）③堀　翔馬（福知山支部）④高橋佑弥（宇治支部）
●小学3・4年女子①山田愛茄（宇治支部）②植松恵未（長岡京支部）③西川　凜（伏見支部）④高橋　華（上京支部）
●小学4年男子①髙村久遠（宇治支部）②國本駿介（宇治支部）③多田風斗（宇治支部）④守田昌弘（綾部支部）
●小学5年男子①水岡輝也（長岡京支部）②多田陸斗（宇治支部）③西田龍之介（宇治支部）④森山新大（宇治支部）
●小学5年女子①織部真生（宇治支部）②岡本紗奈（伏見支部）③阪田梨乃（宇治支部）④宇治川万桜（宇治支部）
●小学6年男子①岡本健伸（伏見支部）②西川翔汰朗（伏見支部）③植松陽介（長岡京支部）④藤田康助（伏見支部）
●小学6年女子①多門陽菜（上京支部）②安達未来（上京支部）③大槻奏乃（綾部支部）④藤崎ほのか（綾部支部）
●中学1年男子①水岡勇也（長岡京支部）②平井浩気（宇治支部）③森下元春（西舞鶴支部）④四方聖己（西舞鶴支部）
●中学1年女子①福島　舞（伏見支部）②中瑠璃香（伏見支部）③織部　雅（宇治支部）④五十嵐　葵（京田辺支部）
●中学2年男子①草留　慧（上京支部）②金ヶ崎智秀（宇治支部）③梅垣虎次郎（綾部支部）④阪田　蓮（宇治支部）
●中学2・3年女子①杉山雛乃（伏見支部）②安田優香（宇治支部）③且　仁美（長岡京支部）④杉谷萌々香（舞鶴田辺支部）
●中学3年男子①寺下　将（宇治支部）②棚橋勇太（右京支部）③佐々木広太（伏見支部）④絹傘　集（宇治支部）
●高校男子①山田祥博（宇治支部）②織部修也（宇治支部）③林　佑介（西舞鶴支部）④村中大樹（西舞鶴支部）
●高校・一般女子①安藤麻喜子（伏見支部）②福島葵（伏見支部）③兼田由香梨（上京支部）④桑田厚子（山科支部）
●一般男子①安藤　誠（伏見支部）②山下雄太郎（京都産業大学）③津崎拓実（宇治支部）④龍ヶ江良俊（龍谷大学）（江差支部）③茂木駿仁（札幌中央支部）④ 白井彪冴（由仁支部）⑤森　龍之助（江差支部）⑥小笠原涼太（江差支部）
●中学1年生女子①平門　瞳（江差支部）②山中麻央（旭川南支部）③和田彩花（岩見沢支部）④加藤ひとみ（札幌北支部）⑤朝野紗由香（札幌西支部）⑥田中裕菜穂（八雲支部）
●中学2年生男子①中川　樹（函館支部）②三浦静也（標津支部）③岩田来巣（上ノ国支部）④三浦陽平（上ノ国支部）⑤酒井雅凱（上ノ国支部）⑥旭岡亮太（江別支部）
●中学2年生女子①藤澤美瑞紀（松倉道場）②岡部千帆（旭川南支部）③鳴海百華（由仁支部）④永井里奈（松倉道場）
●中学3年生男子①山本　颯（江差支部）②廣田　諒（旭川南支部）③篠原　司（美唄東支部）④山川大志（江差支部）⑤中村峻大（江別支部）⑥今　朋哉（江別支部）
●中学3年生女子①秋保　優（江別支部）②溝國春菜（江別支部）③吾田佳穂（八雲支部）④ 長内沙樹（札幌西支部）
●高校生男子①富田義基（美幌支部）②久末卓真（上ノ国支部）③杉本佳亮（江別支部）④小西　徹（旭川南支部）⑤岩田卓也（上ノ国支部）⑥伊藤尚悟（札幌中央支部）
●高校生女子①横山涼香（札幌中央支部）②乾　綾花（岩見沢支部）③宮本あすか（函館支部）④加藤　愛（旭川大雪支部）⑤桑田沙也加（旭川南支部）
●一般男子①熊谷圭悟（征空館）②村上智也（江別支部）③北村　満（札幌菊水支部）④大田流維（札幌菊水支部）⑤竹林宏晃（美唄東支部）
●一般女子①中村朱里（旭川南支部）②神尾菜摘（松倉道場）③井上華那（江別支部）④峯尾　泉（江別支部）⑤中澤奈緒美（札幌清田支部）⑥ 田代早苗（旭川大雪支部）
●小学生低学年男子団体①江差支部②八雲支部③今金支部 ④函館支部
●小学生高学年男子団体①江差支部②旭川南支部③美唄東支部 ④八雲支部⑤札幌西支部⑥函館支部
●中学生男子団体①江差支部Ｂ②江差支部Ａ ③上ノ国支部④旭川南支部⑤美唄東支部⑥江別支部

第31回全京都空手道選手権大会

平成23年5月3日　京都府・亀岡運動公園体育館

組手の部

●小学1年男女①古川大翔（宇治支部）②平井英太（宇治支部）③村岡風花（綾部支部）④笹井威吹（宇治支部）
●小学2年男女①金森隆真（宇治支部）②西村王雅（宇治支部）③待田起良（宇治支部）④北岡佑真（宇治支部）
●小学3年男子①安達惠哉（上京支部）②渡辺奎太（宇治支部）③春永弥飛（舞鶴田辺支部）④多門　瞭（上京支部）
●小学3・4年女子①西川　凜（伏見支部）②山田愛茄（宇治支部）③五十嵐愛枝（東舞鶴支部）④田中観月（北支部）
●小学4年男子①髙村久遠（宇治支部）②守田昌弘（綾部支部）③田畑陸翔（綾部支部）④土山竜之介（宇治支部）
●小学5年男子①金ヶ崎直仁（宇治支部）②西田龍之介（宇治支部）③森山新大（宇治支部）④平井稔次（宇治支部）
●小学5年女子①岡本紗奈（伏見支部）②安達梨央（上京支部）③宇治川万桜（宇治支部）④熊谷美優（舞鶴田辺支部）
●小学6年男子①岡本健伸（伏見支部）②西川翔汰朗（伏見支部）③藤田康助（伏見支部）④松永渚雄（伏見支部）
●小学6年女子①安達未来（上京支部）②多門陽菜（上京支部）③大槻奏乃（綾部支部）④奥西菜緒（宇治支部）
●中学1年男子①山本琉斗（伏見支部）②山田大晟（宇治支部）③波多野聖真（綾部支部）④水岡勇也（長岡京支部）
●小学5年生女子①伊勢茉由子（稚内中央支部）②村松奈津子（江別支部）③餌取ひなた（八雲支部）
●小学6年生男子①小林洸陽（上ノ国支部）②山下朝妃（江差支部）③清水琉斗（江差支部）④日水善大（函館支部）
●小学6年生女子①山田穂香（上ノ国支部）②嵯峨明里（江別支部）③吉田果永（今金支部）
●中学1年生男子①坂本拓功（今金支部）②森　龍之助（江差支部）③増田　燎（江差支部）
●中学1年生女子①加藤ひとみ（札幌北支部）②平門　瞳（江差支部）③田中裕菜穂（八雲支部）
●中学2年生男子①三浦陽平（上ノ国支部）②三浦静也（標津支部）③旭岡亮太（江別支部）
●中学2年生女子①永井里奈（松倉道場）②藤澤美瑞紀（松倉道場）③岡部千帆（旭川南支部）
●中学3年生男子①今　朋哉（江別支部）②廣田　諒（旭川南支部）③中村峻大（江別支部）
●中学3年生女子①長内沙樹（札幌西支部）②吾田佳穂（八雲支部）③秋保　優（江別支部）
●高校生男子①杉本佳亮（江別支部）②永井　瞬（松倉道場③鎌田　拓（福島支部）④高村泰史（福島支部）
●高校生女子①宮上匠子（上ノ国支部）②乾　綾花（岩見沢支部）③桑田沙也加（旭川南支部）④横山涼香（札幌中央支部）
●一般男子①金子真司（江別支部）②村上智也（江別支部）③井上　剛（江別支部）④永田祐樹（江別支部）
●一般女子①長内いづみ（福島支部）②井上華那（江別支部）③植木旦美（酪農大学）④峯尾　泉（江別支部）
●小学生低学年男子団体①函館支部A②函館支部B③今金支部
●小学生高学年男子団体①江差支部②函館支部③福島支部A④美唄東支部
●中学生男子団体①美唄東支部②江差支部B③上ノ国支部④函館支部A

形の部

●小学1・2年生男子①太田樹宏（函館支部）②村松滉介（江別支部）③高橋龍虎（上ノ国支部）④金子世名（函館支部）⑤佐藤　晴（上ノ国支部）⑥石田敬大（江差支部）
●小学1・2年生女子①清水柊衣（江差支部）②加賀谷礼奈（函館支部）③小松明日佳（函館支部）④斉藤美鈴（松倉道場）⑤安藤　愛（八雲支部）⑥ 田村梨奈（札幌北支部）
●小学3年生男子①徳本拓海（函館支部）②森髙虎次朗（江差支部）③清水景哉（江差支部）④田附和翔（江差支部）⑤上田大晟（稚内支部）⑥菊地遼太（旭川大雪支部）
●小学3年生女子①中村美水（松倉道場）②三浦璃子（江別支部）③前田倫果（江別支部）④安藤　華（八雲支部）⑤加賀谷英美（函館支部）⑥前田倫果（江別支部）、三浦璃子（江別支部）
●小学4年生男子①松澤壱彩（美幌支部）②種村日和（八雲支部）③木島翔吾（今金支部）④大崎慈文（江別支部）⑤紙谷胤圭（函館支部）⑥高木　豪（札幌西支部）
●小学4年生女子①吉田陽菜（今金支部）②平門　藍（江差支部）③川村絵理（札幌中央支部）④柿崎世奈（八雲支部）⑤佐久間雪音（札幌西支部）
●小学5年生男子①吉田慧士（旭川大雪支部）②茂木鴻貴（札幌中央支部）③小川翔太（興部支部）④深尾拓真（美唄東支部）⑤菊地悠斗（旭川大雪支部）⑥ 岩上慎之介（福島支部）
●小学5年生女子①村松奈津子（江別支部）②伊勢茉由子（稚内中央支部）③餌取ひなた（八雲支部）④木村希乃佳（八雲支部）
●小学6年生男子①清水琉斗（江差支部）②山内　元（八雲支部）③前崎　駿（旭川南支部）④大場悠介（旭川西支部）⑤酒井将翔（上ノ国支部）⑥佐々木蓮（千歳支部）
●小学6年生女子①岡部帆乃夏（旭川南支部）②板垣澪花（八雲支部）③久末弥由蘭（江差支部）④ 嵯峨明里（江別支部）⑤ 山田穂香（上ノ国支部）
●中学1年生男子①増田　燎（江差支部）②田附勇眞

家庭ですぐ出来る　夏の節電18

今年も暑い夏がやって来そうです。東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、私たちができる節電はないでしょうか？　極度のがまんをせず、お金をかけず、継続的に取り組めるものを平山裕子・総本部指導員が教えてくれました。

☆屋外

①部屋の外によしず、すだれを設置する
②窓に空気層のある断熱シートを貼る（もしくは内窓を設置する）
③風呂の残り湯で朝夕に打ち水をする

☆冷房

④冷房ではなく、扇風機・うちわを活用
⑤冷房の温度設定は28℃
⑥冷房時に部屋のドアやふすま、カーテンやブラインドを閉める
⑦冷房時には皆がいっしょの部屋で過ごす
⑧エアコンのフィルターをこまめに掃除（月2回程度）
⑨冷房を使う時間をできるだけ短く（就寝前1時間はオフなど）

☆照明やテレビ等

⑩白熱電球を電球型蛍光灯やLED電球に交換
⑪照明を使う時間を可能なかぎり短くする
⑫テレビをつけっぱなしにせず、見る番組を絞る
⑬テレビの明るさを調整
⑭電気機器は使い終わったらプラグを抜くか電源タップを切り、待機電力を減らす

☆台所

⑮電気ポットや炊飯ジャーの保温をやめる
⑯冷蔵庫を壁から適切な距離を離し、周りや上にものを置かない
⑰冷蔵庫を整理し、開ける時間を短くする
⑱冷蔵庫の温度設定を下げる

「無理をして、熱中症などのトラブルを起こしては大変です。節電もほどほどが大切です」（平山）

行事予定

8月
13日(土)・14日(日) 第54回小学生・中学生全国空手道選手権大会 三重県営・サンアリーナ
18日(木)・19日(金) 船越義珍杯第12回少年世界空手道選手権大会 タイ・パタヤ
20日(土)・21日(日) 船越義珍杯第12回世界空手道選手権大会 タイ・パタヤ
28日(日) 定期昇級・昇段審査会 総本部道場

9月
17日(土) 師範会会議・師範会稽古 総本部道場

10月
6日(木)～9日(日) 秋季国内外全国合同合宿 総本部道場
23日(日) 関東学生会定期リーグ戦 未定

11月
5日(土) 第11回熟錬者全国空手道選手権大会 未定
27日(日) 定期昇段審査会 総本部道場

12月
2日(金) 研修生入所試験　総本部道場
22日(木) 総本部道場稽古納め　総本部道場
23日(金)～1月6日(金)　冬期休暇

昇段者

●三段　海保千佳（市原）川路飛鳥（北総）仲川碧（寺井）瀬古順一（那須）川瀬公一（大宮）塚田千雪（東浦和）脇健一（北浦和）伊藤眞智子（春日部松濤館）池田秀雄（南越谷）佐藤昭司（浦和謙武）小塩康弘（川崎）井上智子（高森）久宗真美（長津田空手クラブ）叶城倫子（上田）新美みさ（春日井）富田典均（春日井）
●四段／猪越悠介（総本部）
●五段／CHANDRASHEKHAR SHETTY、VIKASH SAHU、GAUTAM MUKHERJEE、SURESH H.MALI、DIVESH B.TRIVEDI、BHAGYASHRI P.KHOT、PRAKASH V.SORAP、SATYABHAN SAHU、SUDHIR S.VANJARI、RAPOLU SUDERSHAN、ANIL S.SURVE（全てインド）IVAN MRAVLJAK（スロベニア）SAMO GROSS（スロベニア）AMADO G.ABAO、ADRIANO U.BACLAY、PETRONILO GUNHURAN、RUBEN L.TINDA-AN、ERLANDO Y.METANTE SR.、EUGENE C.ORBITA、VICTOLITO A.LUNA、EDGAR S.KAPAWEN SR.、RUPERTO TORRES、ANTONIO P.DILUVIO（全てフィリピン）菱木ひろみ（比呂空会）大槻俊一（流山）
●六段／　Daniel Freneuil（フランス）
●七段／中達也（総本部）

社団法人 日本空手協会
J.K.A
指定製造元 ヒロタ
HIROTA
MADE IN JAPAN
COTTON 100%
WASH IN COLD
WATER DRIP-DRY
DO NOT USE COMMERCIAL DRYERS

空手衣のヒロタ

HIROTA
www.karategi-hirota.co.jp

ＪＫＡラベル

金銀ラベル：
特別仕立て空手衣、
洋八、朱子帯用

赤銀ラベル：
既製品空手衣、
並黒帯、色帯用

ＪＫＡ関連商品（この他にも多数有ります）

確かな技術と迅速な対応で
お客様に満足して頂ける
空手衣をお届けします。
特別仕立て組手用ピナック、
型用＃163も好評発売中です！

東京本社
〒144-0052
東京都大田区蒲田 5-33-6 NS ビル 1F
Tel:03-3730-5366/Fax:03-3730-5336
e-mial: tokyo@karategi-hirota.co.jp

福岡支店
〒812-0018
福岡県福岡市博多区住吉 4-2-15 住四ビル
Tel:092-475-1810/Fax:092-475-1817
e-mial: fukuoka@karategi-hirota.co.jp

愛知工場
〒445-0802
愛知県西尾市米津町蓮台 16-3
Tel:0563-54-3600/Fax:0563-54-5822